

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
364	364	柘植老人憩いの家管理運営事業	01	01	一般会計
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	03	03	民生費
担当部課名		伊賀支所 健康福祉課	02	02	老人福祉費
作成者氏名	福永 保	連絡先	01	01	老人福祉総務費
		0595-45-9105	104	104	老人福祉センター等維持管理経費
			02	02	老人憩いの家管理運営経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	地域住民(主に高齢者)の生きがい、同和問題の速やかな解決および健康で豊かな生活の指導推進を行う	介護予防のリハビリや交流事業の創作活動等により、在宅でいきいきと自立した生活ができる
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 医療器具、健康器具を使用してリハビリを行い介護予防を目指す(月～土) 講師派遣による歌の会・カラオケ等音楽療法、おやつ作り、伊勢万歳(1回)、寄せ植えおよび箱作り等 親睦バス旅行(尾張温泉).6/11 	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先: 伊賀市社会福祉協議会)	根拠法令・要綱等 柘植老人憩いの家設置条例
市内の類似施設	壬生野福祉ふれあいセンター	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1	1	1
人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	9,001	8,769	8,769
委託料	5,460	5,570	5,570
賃金	1,433	1,359	1,359
需用費	1,497	1,265	1,265
その他	611	575	575
合計(A+B)	16,201	15,969	15,969
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	16,201	15,969	15,969
上記①～③に関する特記事項			
臨時職員 1名			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
機能回復訓練(リハビリ)健康チェックを含む	人	9,399	9,410	9,420			
健康指導相談	人	584	587	590			
フォローアップ支援	人	610	615	617			
創作活動 音楽療法 カラオケ	人	27 126	30 130	33 135			
親睦旅行 伊勢万歳(17年度)	人	37 70	40	43			
おやつ作り 寄せ植え教室	人	210 75	213 78	215 80			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
通所者数	地域の高齢者数と近隣地域高齢者少数人数(141人)を分母とし、1日平均リハビリ人数(32人)を分子とする通所者比率を指標としました。	%	23 目標 (50)	30	35
職員の配置	現在、職員1人、臨時職員1人、委託職員(看護師)1人であり、事業内容において一部を委託しているが、今後はサービスの低下はないため、人件費削減を含め、施設管理業務委託について改善が必要と考える。	人	2 目標 ()	2	0

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成12年度に増築を行い現在の施設が完成した。通所人数については、平成12年8月に最高約1,154人で平成15年からは1ヶ月1,000人を超えていない。
 リハビリ用機器等については、家庭用のマッサージ機等であり、1日中運転しているため損耗が激しく、毎年何台か修繕している。中には、修繕不能品もあるが住民からの要望が強いため今後新品を購入が必要と考えられる。創作活動については、活発に参加しているので行事の回数を増やしたい。

評価	必要性	4	現在通所者は 同じ人が多く、地域全体で交流の場として有効に利用できるため、多くの人が参加できるよ う事業充実を図っていきたい。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A